

29川総庶第910号
平成30年1月22日

教 育 長 様

川 崎 市 長

平成30年市議会定例会提出議案に係る教育委員会の意見聴取について
(依頼)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定に基づき、平成30年に開催される市議会定例会及び臨時会に提出を予定する各議案について、教育に関する事務の部分における貴委員会の意見を求めます。

(参考)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）（抄）
（教育委員会の意見聴取）

第29条 地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合においては、教育委員会の意見をきかなければならない。

(総務企画局総務部庶務課担当)

電話200-2046

内線21311

平成 30 年第 1 回市議会定例会提出予定議案のうち、

教育に関する事務に係る案件

予算（1 件）

平成 30 年度川崎市一般会計予算

補正予算（1 件）

平成 29 年度川崎市一般会計補正予算

条例（2 件）

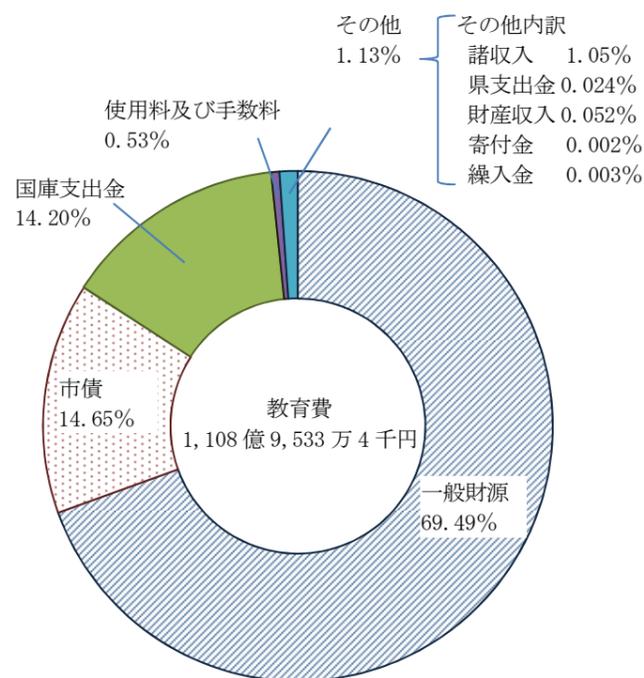
川崎市職員定数条例等の一部を改正する条例の制定について

川崎市立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

教育予算について

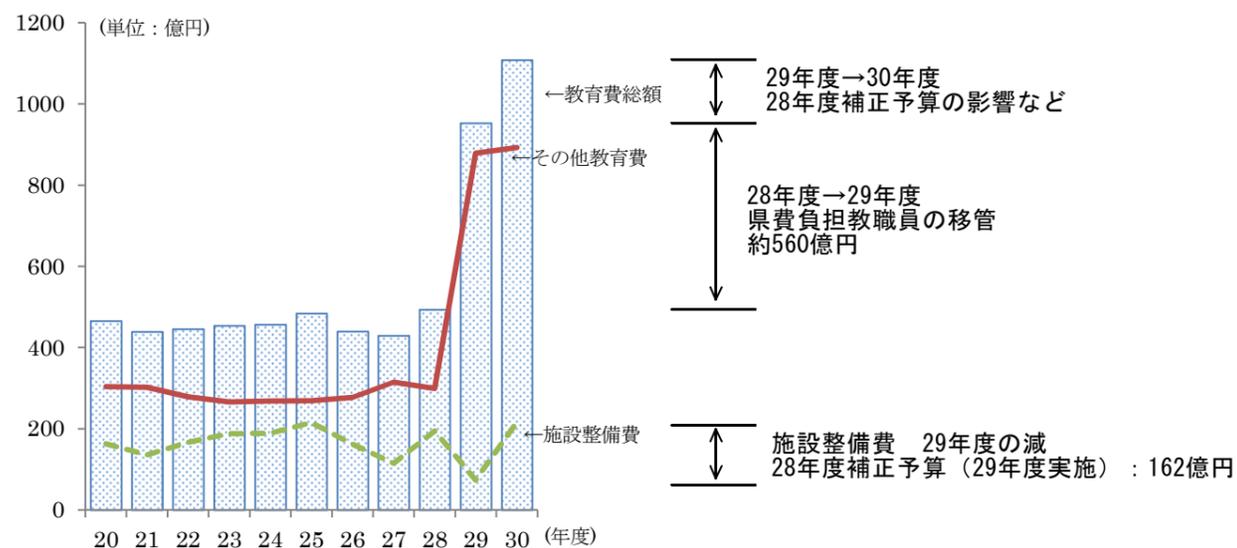
平成30年度教育費の当初予算は、1,108億9,533万4千円となり、前年度と比較して、155億6,294万4千円の増となっている。これは、主に教育施設整備費の増によるものである。

1 教育費財源内訳

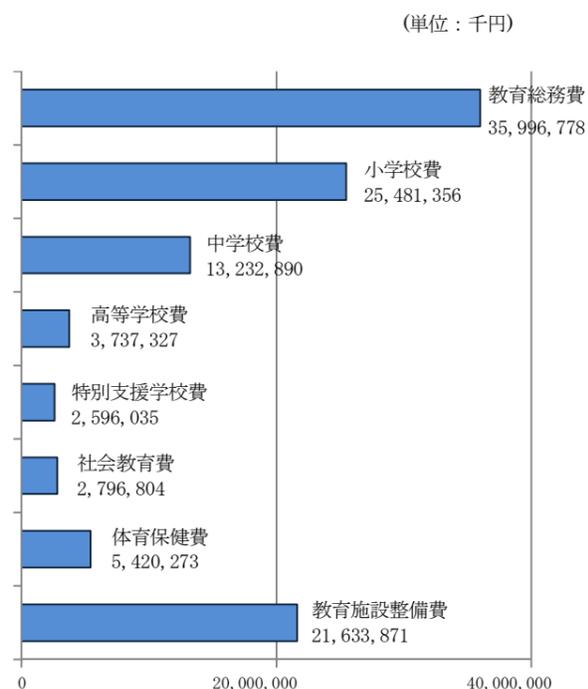


*教育費財源内訳の数値は、小数点第3位(その他内訳は第4位)を四捨五入しているため、各数値の計と合計が一致しない場合がある。

2 教育費の年度別推移



3 費目別歳出予算額



平成30年度教育委員会予算(案) 主要施策

教育費30年度当初予算(案) 1,108億9,533万4千円

教育プラン基本政策	施策名	H30予算(千円)	H29予算(千円)
人間としての在り方生き方の軸をつくる	1 キャリア在り方生き方教育の推進	4,581	(5,349)
	2 確かな学力の育成	867,731	(871,428)
	3 豊かな心の育成	69,862	(102,804)
	4 健やかな心身の育成	5,446,826	(4,651,883)
	5 教育の情報化の推進	1,662,286	(1,705,541)
	6 魅力ある高等学校教育の推進	15,785	(42,788)
学ぶ意欲を育て、「生きる力」を伸ばす	7 共生社会の形成に向けた支援教育の推進	2,239,319	(1,927,670)
	8 安全教育の推進	99,730	(108,352)
一人ひとりの教育的ニーズに対応する	9 安全安心で快適な教育環境の整備	13,689,796	(5,187,370)
	10 児童生徒増加への対応	9,330,595	(3,557,716)
	11 学校運営体制の再構築	4,111,146	(4,157,341)
良好な教育環境を整備する	12 学校運営の自主性、自律性の向上	164,267	(169,006)
	13 教職員の資質向上	843,022	(996,661)
	14 家庭教育支援の充実	2,787	(2,897)
学校の教育力を強化する	15 地域における教育活動の推進	90,345	(77,603)
	16 自ら学び、活動するための支援の充実	859,566	(759,301)
家庭・地域の教育力を高める	17 生涯学習環境の整備	237,586	(1,079,008)
	18 文化財の保護・活用の推進	240,535	(67,585)
いきいきと学び、活動するための環境をつくる	19 博物館の魅力向上	449,937	(442,773)
	文化財の保護・活用と魅力ある博物館づくりを進める		

教育委員会事務局

＜予算額＞ 問合せ先：庶務課 200-3260 内) 50101

110,895,334千円 (対前年度比：+16.3%)

＜主な事業＞

「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進

- キャリア在り方生き方教育の推進** 4,581千円
 ○全校で実施している「キャリア在り方生き方教育」について、小学校から高等学校までの計画的・系統的な実施に向けた取組を推進します。
- 確かな学力と豊かな心の育成に向けた取組** 629,075千円
 ○一人ひとりの「生きる力」を伸ばしていくため、学ぶ意欲・態度を育むことを大切にしながら、「確かな学力」「豊かな心」を育てる取組を推進します。
- ・次期学習指導要領を踏まえ、小学校の英語教科化等に対応した指導体制を整備（新規）
 ALT（外国語指導助手）を81人から91人へ増員（拡充）
 - ・児童が読書や学習でいつでも学校図書館を活用できるよう、学校司書を配置している小学校を21校から28校に拡大（拡充）

健康給食の推進 4,755,298千円

- 野菜を豊富に取り入れ、食材や味付けにこだわった献立の提供や、(株)タニタとの包括協定に基づく健康プログラムの実施等、川崎らしい特色ある「健康給食」の取組を推進します。
- 学校給食を活用した小中9年間にわたる体系的・計画的な食育を推進し、「食」に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけ生涯健康な生活を送るための基礎を育みます。



中学校での給食風景

家庭・地域の教育力の向上

- 地域の寺子屋事業の推進** 61,696千円
 ○地域ぐるみで子ども達の学習をサポートする「地域の寺子屋」を随時開講します(36か所→77か所)。また、担い手である寺子屋先生の養成を図ります。(拡充)

自ら学び、活動するための支援

- 生涯学習環境の整備** 95,995千円
 ○地域の活動拠点として学校施設を有効活用し、市民の生涯学習環境の推進を図ります。
 ○既存施設(労働会館)を活用した川崎区の市民館整備に向けて、基本構想の策定を進めます。

市民の文化芸術活動の振興

- 文化財の保護・活用と魅力ある博物館づくりの推進** 690,472千円
 ○歴史や文化への理解を深めるため、重要な文化資源である国史跡橘樹官衙遺跡群の保存活用計画に基づき、史跡指定地の公有地化や、保存管理・活用等を実施するための整備基本計画の策定を推進するとともに、各博物館施設の魅力向上につながる事業を展開します。

安全で快適な教育環境の整備

- 学校安全対策の推進と教育環境の整備** 1,901,642千円
 ○地域社会全体で学校の安全確保に取り組み、防犯力の向上や防災教育の充実により、総合的な安全対策を推進します。また、教育環境の向上をめざし、トイレの快適化やバリアフリー化等を進めるとともに、非構造部材の耐震化など学校施設の防災機能の強化を図ります。
- ・学校トイレ改修の加速化(30校)(拡充)
 (34年度までに全市立学校のトイレの快適化を実施)
 - ・エレベータの整備(5校)
 - ・教育施設の特定天井改修工事(1校)等の非構造部材耐震化や灯油式発電機整備(15校)等の各種防災機能の強化



快適化済みトイレ

- 学校施設長期保全計画の推進** 8,360,489千円
 ○「学校施設長期保全計画」に基づき、改修による再生整備と予防保全を併せて実施し、より多くの学校の教育環境の改善と長寿命化による財政支出の削減を図ります。
- ・実施校数 校舎30校、体育館19校

児童生徒の増加に対応した教育環境の整備 9,330,595千円

- 良好な教育環境を確保するため、学校の新設、校舎の増築等を実施し、児童生徒の増加に対応します。
- ・東小倉小学校、東住吉小学校、高津小学校、柿生小学校の校舎増築設計の実施(新規)
 - ・(仮称)小杉小学校新設工事の実施(31年度開校)
 - ・新川崎地区における小学校新設に向けた取組



(仮称)小杉小学校完成イメージ

学校の教育力の向上

- 学校運営体制の再構築** 4,111,146千円
 ○学校業務の効率化を図るため、事務支援員を配置し、教職員の長時間勤務の解消に向けた取組を実施します。(新規)
- 教員の負担軽減や部活動の安定的な運営のため、部活動の指導や大会への引率をする部活動指導員を配置します。(新規)

一人ひとりの教育的ニーズへの対応

- 特別支援教育の充実** 483,832千円
 ○小中学校等における医療的ケアを必要とする児童生徒を対象とした看護師の学校訪問について、回数制限をなくし、一人ひとりの医療的ケアの状況に応じた訪問とする等、ニーズに応じた支援を推進します。(拡充)
- 就学等支援事業の円滑な実施** 1,208,740千円
 ○就学援助を必要とする保護者からの申請を受け付け、認定を行い、就学援助費を支給する等の事務処理の円滑化・効率化を図るため、就学援助システムを構築します。(新規)
- これまで小学校入学後に支給していた新入学児童生徒学用品費を、援助をより必要とする時期に支給できるよう、入学前に支給します。

平成 29 年度川崎市一般会計補正予算（案）について

教育費補正額 1,546,434 千円

■補正の内容

1 歳入歳出予算

◆義務教育施設整備費 1,546,434 千円

国庫補助の認承増を受け、前倒して執行を行うもの
(学校施設長期保全計画推進事業 5 小学校体育館)

財源内訳：

国庫補助金	179,622 千円
市 債	1,001,000 千円
一般財源	365,812 千円

2 繰越明許費

◆社会教育費 13,500 千円

生涯学習プラザエレベータの故障に対する緊急補修を行うため

◆教育施設整備費 1,559,253 千円

長期保全整備事業の体育館改修工事 5 校
国庫補助の認承増を受け、前倒して執行を行うもの

学校トイレ環境整備設計委託及びエレベータ整備設計委託
設置場所等の協議に時間を要したことによる工期の遅れのため

川崎市職員定数条例等の一部を改正する条例の制定について

職員配置の見直しに伴い、職員定数の調整を行うこと等のため改正するもの

1 改正する条例（教育に関する事務に係る部分）

川崎市職員定数条例

2 改正内容（教育に関する事務に係る部分）

職員定数の改正

（単位：人）

部 局		現行定数	増減員	改正定数
教育委員会の所 管に属する職員	事務部局及び教育機関 （学校を除く。）の職員	386	4	390
	学校の職員	7,064	△13	7,051

3 施行期日

平成30年4月1日から施行

川崎市立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

小杉小学校を新設するため改正するもの

1 名称等

名 称	川崎市立小杉小学校
位 置	中原区小杉町2丁目295番地1
開 校	平成31年4月1日

2 施行期日

平成31年4月1日から施行

平成30年川崎市一般会計予算に係る意見について（案）

平成30年度は、現在策定中の「第2次川崎市教育振興基本計画かわさき教育プラン第2期実施計画」に基づき、着実に教育施策を推進してまいります。

学校教育では、急激に社会・産業構造が変化し、ますます社会の予測が困難な状況の中、直面する様々な課題へ対応するため、社会的自立に必要な能力や態度、共生・協働の精神を育む「キャリア在り方生き方教育」を全ての学校で引き続き推進するとともに、共生社会の形成に向け、一人ひとりの教育的ニーズに適切に対応していく支援教育の推進や全中学校における完全給食が実現し、学校給食を活用した小中9年間にわたる体系的・計画的な食育の推進に取り組んでまいります。

社会教育では、地域の多様な市民が集い、学び、つながり、学んだ成果を主体的にいきいきと地域づくりや市民活動に活かすことができるよう、社会教育の推進や生涯学習環境の整備等に取り組んでまいります。

また、学校施設利用者からのニーズの高い学校トイレの快適化や、情報モラルを含め情報を主体的に選択し活用していくために必要な情報活用能力の育成、地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートする地域の寺子屋事業の取組を推進してまいります。

本市の厳しい財政状況につきましては、理解しているところでございますが、「かわさき教育プラン」の基本理念である「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」の実現に向けて、必要な予算措置をお願いいたします。